

まつうら 農業委員会だより

第2号

平成18年9月1日発行

発行 松浦市農業委員会
編集 委員会だより編集委員会
TEL(0956)72-1111



“ガンバル”まつうら農業 吉福 誠さん・神田 英隆さん(松浦市星鹿町)
[関連記事は8ページに掲載しています。]

● 主な内容 ●

	ページ
◆ 就任・退任挨拶	2
◆ 農業委員担当地区案内	4
◆ 我が町の自慢	5
◆ 「声」－農業は今－ 農業委員 村田寛典	6
◆ “ガンバル”まつうら農業	8

- 定例農業委員会の開催日は原則として毎月27日です。
- 農地転用申請受付期間は、原則として毎月8日から14日までです。
- 農地に関する相談事は、地元農業委員または農業委員会事務局へお尋ねください。

就任のご挨拶

松浦市農業委員会
会長 木原 勇一



本年一月一日合併新市の誕生によりまして、三ヶ月の在任特例期間を経まして改選の運びとなり、今期も議会推薦の委員として引き続き松浦市農業委員会にお世話になることになり、又改選後の新生松浦市の初代会長として就任いたしました。もともと微力であり、いろんな面に至りませんが、農家の皆様方をはじめ、関係皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

さて、ご承知のように、国際化と経済最優先の社会となり、物の考え方も大きく変わり、

加えて、急速な高齢化社会に向かつて地方は大変な時代を迎えております。国の農政も大きく転換をされてきた今日、いよいよ来年からは品目横断的経営安定対策として政策も予算も集中型の施策となり、農地もなお一層の利用集積の促進が図れるよう政策展開がなされていくものと思います。今後、プロの農家の育成に軸足を置いた農政の中で、地域の農業、農村をどのように創造し、集落の農業環境をどう守り、多面的機能をどのように方法で保全に努めていけるのか、農村共通の課題に、それぞれの地域において、地域の問題として知恵を出す時代になったように思います。

農業委員会としても、農家の相談窓口機関として、委員三七名、事務局職員六名、福島分室・鷹島分室各一名、力を合わせて活動してまいりますので、よろしく申し上げます。就任の挨拶いたします。

退任のご挨拶

前松浦市農業委員会
会長 吉田 良三



残暑の候、農家の皆様には、ご健勝にお過ごしのことと存じます。今年は梅雨明けが大幅に遅れ、水稻の作柄が心配されておりましたが、八月からの日照りでなんとか持ち直し、このまま無事に実りの秋を迎えることができれば幸いです。お待ちしております。

さて、私儀、去る三月末日をもって、およそ十年間務めてきました農業委員を辞することになり併せて十七年七月より職責を預かっておりました会長の任を退くことになりました。短い期間でしたが、

会長として大過なくその任を終えることができましたのは、ひとえに農家の皆様をはじめ関係各位のご指導、ご支援のお陰だと感謝申し上げます。

さて、二月一日の合併により農業委員会も生まれ変わり、新農業委員会として発足いたしました。農業情勢は相変わらず厳しい環境におかれ、国にあつては、来年度より大きく政策転換がなされ、本市のような中山間地の小規模農家にとつては更に厳しくなるものと思えます。農業委員会も山積する課題解決のため、役割と責任は益々重くなると思えます。農業委員の皆様には、さらに研鑽を積み、地域のリーダーとして、本市農業の発展のためがんばっていただきますようお願い申し上げます。

最期になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。会長退任のご挨拶いたします。

新しく農業委員に就任して

(議席番号順)

松本忠俊 委員



この度、改選にあたり、地区の方々のご推薦をいただき、農業委員という重責に就任いたしました。

今日の農業を取り巻く厳しい現状の中で、農業委員の職務を全うできるか、少々不安ですが、事務局、先輩委員、地域の方々のご指導を仰ぎながら、私なりに勉強し、地域の皆様方のお力になれる様、努力致す所存です。

よろしく願います。

浦上文雄 委員



この度、地区の皆様のご推薦により、農業委員に選任されました。

この厳しい農業情勢の中に、私のような非才な者が、十分なお世話ができるか大変心配ですが諸先輩方のご指導を頂きながら一生懸命務めたいと思いますので、皆様方のご指導、ご協力をよろしく願います。

山川重晴 委員



この度、地域の皆様のご推薦により、農業委員に選任されお引き受けする事になりました。

農業委員になって、農業委員の広範な役割を知り、地域の皆様方のお役に立つようなお世話ができるか不安もありますが、引き受けたからには、微力ではありますが、皆様方のご指導、ご協力をいただきながら、職責を果たして行きたいと思しますので、どうぞよろしく願います。

新見 久 委員



改選期にあたり、地域の皆様のご推薦により、農業委員を引き受けることにいたしました。

何分私にとりましては、初めての大役で、事の重大さを今になり感じているところです。職務を果たせるか心配ですが、受け持ちましたからには、事務局や先輩委員のご指導を仰ぎ、地域の皆様との連絡を密に行い、少しでも地域の発展に貢献できるようがんばります。

今後とも、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。





知識、経験皆無の一年生委員ではありますが、一日でも早く農家の皆様の真にお役に立てるようになるかを念頭に置いて、農業者の利益代表、地域の世話役としての活動、農地行政の適性な執行、地域農業の構造改革の推進等の農業委員会の使命と役割と仕事に対し、一農業委員として、積極的かつ誠心誠意をもって務めさせていただきます。
よろしくおねがいします。



城 銀次郎 委員

改選にあたり農業委員に選任され、身の引き締まる思いでいっぱいです。
さて、現在の農業は、後継者不足、農地の荒廃等、衰退をたどる一方です。
私は兼業農家の立場で、私なりに小さな事からこつこつと活動をして、少しでも農業に明るい光が戻ることを信じて、この役目を務めていこうと思っておりますので、よろしくご支援、ご協力をお願いいたします。



太田 勝義 委員

新しい農業委員と担当区域の紹介

平成18年4月1日からの新しい農業委員と担当区域は次のとおりです。(敬称略)
(委員の任期は平成18年4月1日から平成21年3月31日となります。)

農業委員名	担当区域	農業委員名	担当区域	農業委員名	担当区域
山本 欽美	三里、船唐津	松本トシコ	福島里、鍋串	田中 晴美	坂野、飛島
松本 忠俊	池成、栢ノ木、上野	森 興太郎	寺ノ尾上、郭公尾	城 銀次郎	赤木、上・下高野
浦田啓四郎	下田、大石	田中 裕志	浅谷	川下 實	神崎、石川、日比
浦上 文雄	長野、稗木場、柚木川内	増山サエ子	星鹿、川原辺田	太田 勝義	北東1・2・3、土肥ノ浦
吉田 政明	阿翁、阿翁浦、黒島	大石 徹麻	鷹島原、殿ノ浦	山本 茂	今福木場上・下、寺上、人柱
戸山 政行	庄野、西山	岩木 功	田代	井元 末廣	白井、松山田
田中 晉	池田上、駅通り、池田、寺ノ尾中、寺ノ尾下、中野、前田	萩原 茂	上免、中免、上平尾	村田 寛典	笛吹
松永 逸男	志佐里、志佐浦	川上 博昭	牟田、北久保	松田 守幸	西木場、川内
山川 重晴	大崎上・下、小船	宮崎 敏和	平尾、下免、江口	久保川 久	白浜
新見 久	田ノ平、横辺田	前田 巖	大山、白土、祝崎、喜内瀬	永田 博	土谷、福島原
田中サナエ	なし	山内 重則	中通、鷹島里	木原 勇一	大浜
志水 堅治	伊万里釜、播磨釜	吉元 政弘	御厨木場、板橋		
崎田 隆	仏坂、今福浦、浜ノ脇、滑栄	田口 貴久	青島		

我が町の自慢

俳句で心を耕して



今福町は北免に建立されています『鳴る砂句碑』をご紹介します。

海水浴場として、皆様がよくご存知の『ぎぎが浜』の一

導者となつて、松浦ホトトギス会が発足され、そのお礼にと、八年後の昭和三十年二月十三日にこの句碑が建立されました。

先師の心を

受け継いで、今日まで一月の句会の休みもなく心のよりどころとして守り続けておられます。

又、昨年の十月には、五十周年記念式典も盛大に挙行され、潮騒の中での句会には、とても優雅でした。

角にひっそりと佇んでいます。昭和二十二年四月に、戦後の荒れた故郷の人達の心を耕したいと、都会に出ている人や戦争に行っていた人達が先

農家婦人達も農作業の傍ら、熱心に俳句を続けて交流を深めています。農村風景を詠った句も多くあり、心も耕しておられます。



ぎぎが浜

現在十六名の会員が、月に二回坂口寛会長のもとで吟行に出かけたり、お互いの句を批評しながら向上中です。

農婦として

生きて傘寿の

良夜かな

康子

雨の日は

心耕し

梅雨菴り

喜久女

(農業委員 田中 晴美)

農業経営の参考に！ 全国農業新聞を 読みましょう。

全国農業新聞は、全国農業者に愛読される日本の代表的な農業総合専門雑誌です。

農業者の地位向上を目指して、月四回の毎週金曜日到的確な情報提供を行っています。

まだ、読んだことのない方は、ぜひ読んでみませんか？

購読料は、月六百円です。

お申込みは、農業委員会事務局までお願いします。

電話 七二―一―一一

(内線 二二二)



さて、地域農業

を将来に照らして

考えてみると、担

い手不足、農地の

荒廃化が年を重ね

る度に、現実問題

として急速に進んでおります。

国の新たな基本計画が来年

度より実施されますが、従来

の農業の取組みとは異なった

対応を迫ら

れています。

今こそ地

域の維持発

展を課題と

し、早急に

取組み、行動を起こす時であ

ろうと存じます。

個々ばらばらで解決出来な

い問題を集落全体で話し合い

を進め、農業の構築と地域集

落の一体化、将来への展望を

語りたいたいものです。
そのためには、担い手育成
支援協議会を中心として、集
落リーダー、行政各関係団体
が緊密な連携の下に、行動を
行う事が急務ではないでしょ
うか。



志佐町田ノ平免立岩の滝

農地を後継者へ 贈与する場合の 贈与税について

通常、財産を贈与すると贈
与税がかかります。したがっ
て農地を後継者へ譲ろうとさ
れる場合も税のことが気にな
ることと思います。

平成十五年から「相続時精
算課税制度」が新設されてい
ます。これは、簡単にいうと
贈与時には二五〇〇万円まで
を特別控除額として課税しな
いで、相続時に贈与分につい
てもまとめて精算して課税す
るものです。相続税は五千万
円十一千万円×法定相続人数
まで基礎控除がありますので、
結果的に相続時精算課税制度
を利用すると贈与税がかから
ない場合もあります。詳しく
は農業委員会事務局までお尋
ねください。

”農業者年金“で
ゆとりある老後を！

新年金は「**農業者だけ**」が加入できる**農業者年金**です。

年金は「湧き水」のようなものです。まわりの人が年金をもらっているのに、自分がもらえないで後悔することのないようにしたいものです。

5つのポイント

① 新制度の年金は、「積立方式」の長期的に安定した年金制度です。

② 国からの保険料助成がある唯一の政策年金です。

③ 80歳までの保証が付いた終身年金です。

④ 将来の老後設計に合わせ、自由に選択できる保険料です。

⑤ 税制面で大きなメリット措置があります。

詳しいことはJAか農業委員会事務局までお気軽にお尋ねください。

また、加入手続きはJAの各支店で行っております。

新松浦市農業者年金
受給者協議会発足！

去る平成十八年四月十四日、松浦シテイホテルに於いて、松浦市農業者年金受給者協議会、福島町農業者年金受給者協議会、鷹島町農業者年金受給者協議会が一堂に会し、新松浦市農業者年金受給者協議会の発足総会が開催され、予算並びに事業計画等全ての議案が承認され新しい農業者年金受給者協議会が誕生しました。会員数も四百人を超える大きな組織となっております。



やめよう！
農地の無断転用

農業委員会では毎年農地パトロールを実施しています。農地の無断転用・廃棄物の不法投棄の監視や、転用許可後の進捗状況の確認等を行っています。今年も8月から9月にかけて全市内を実施中です。農業委員だけでなく、農家の皆様にも日頃からの農地への監視等のご協力をお願いします。

農地を転用する場合は必ず、事前に農業委員会へ転用申請書を提出し、許可を受けようとしてください。許可なく農地を転用する行為は農地法違反で、厳しい罰則が与えられます。

許可なく転用すると、農地等の権利取得の効力を生じないだけでなく、都道府県知事による工事の中止、原状回復の命令が行われる場合があります。

また、これらに違反した場合は、三年以上の懲役または三百万円以下の罰金が科せられます。



《表紙の紹介》

今回は、星鹿町でぶどう栽培に励んでおられる若いお二人を紹介しします。

吉福 誠さん 二十歳

(高卒後十八歳で就農)

経営規模

ハウスぶどう 二五^{ルア}

露地野菜 二八^{ルア}

労働力 三人

(誠さんと祖父母)

趣味 音楽鑑賞

神田 英隆さん 十九歳

(高卒後十八歳で就農)

経営規模

ハウスぶどう 五五^{ルア}

水稲 五〇^{ルア}

露地野菜 五〇^{ルア}

労働力 三人

(英隆さんと父母)

趣味 映画鑑賞

吉福さんは、ぶどうを栽培したいとの強い思いから、就農を決めたとの事です。

就農後は、JAの御厨ぶどう部会に加入し、積極的に部会活動に参加され、栽培技術の習得など意欲的に取組まれておられます。

現在は、ぶどうのH型仕立て栽培に挑戦しているとの事です。

また、ぶどうの品質向上を目指し日々努力されて、将来はハウスぶどうの規模を拡大する計画をお持ちのようです。

神田さんは、ぶどう栽培農家の後継者として就農され、『農業が大好き』と笑顔で話していただきました。

吉福さん同様、JAの御厨ぶどう部会の活動に参加、ただ今栽培技術を習得中。露地野菜の生産にも傾注しておられトマト・インゲン・レタスなど栽培されております。

兩名とも、松浦青年農業者会に席を置き、活動の一環と

して種なしぶどうのプロジェクト研究に取組み成果を挙げつつあるとの事です。

将来は、種なしぶどうの商品化を目指していると熱く話してくれました。

若い後継者の就農は、担い手不足・高齢化の渦中において非常に明るい話題であり、何より農業・ぶどう栽培が大好きな二人の今後の活躍が楽しみです。

(農業委員 増山 サエ子)



人事異動のお知らせ

七月一日付けの異動がありましたのでお知らせします。

税務課へ

瀬尾 幸久

(事務局副主任)

事務局主査

白石 規

(都市計画課主査)

新しい顔ぶれで頑張っていますのでよろしくお願ひします。

編集室から

市町村合併後の農業委員改選から早四ヶ月。編集委員も新メンバーになってから初めて発行する農業委員会だよりです。

試行錯誤の連続ですが、農家の皆様に親しまれ、お役に立てる記事を考え、がんばっていきますので、よろしくお願ひします。

(編集委員一同)